

車いす体験マニュアル ～福祉実践教室に関する準備・留意事項～

福祉実践教室を実施するにあたり、担当される先生方に以下のことにご配慮いただきますようお願い申し上げます。

1. 事前打合せについて

実践教室実施の約1週間前までに、一度打合せの機会を作っていただきます。どのような講義をお望みなのか、学校側の希望や、教室を実施する場所の様子などを伺いたく思います。何より、先生方に直接お会いすることで、まず先生方に私たちの様子や生活の実態等を知って頂きたいと思っております。

2. 授業内容について

車いす体験だけではなく、障害者本人の話を聞いたり、交流する時間が持てるようにしてください。また、小、中、高等学校それぞれにふさわしい授業内容を計画してください。(例えば小学生なら体育館で、中学生なら学校の周辺での車いす体験、高校なら教室でビデオを使用した講義や、実際に街に出てみる、というような、学年に応じた授業内容)

3. 講座人数について

一回の教室で、人数は40人以下、時間は50分以上とるようにしてください。また、車いすは概ね二人に一台行き渡るように手配をお願いします。多人数での実践教室は生徒さん一人一人に対するきめ細かな指導が出来にくくなります。また、講師の障害の関係で多人数だと言葉が伝わりにくくなるということもあります。

4. 教室の開催場所に関して

実践教室のプログラムを立てる中で、講義を行う会場を車いすで入りやすい会場を手配してください。特に階段を使用しないと行けないような階上の教室は避けてください。また、会場まで行く途中に段差や階段等がある場合は、臨時に板をあてがいスロープを作る等の工夫をしてください。

5. 費用について

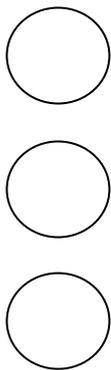
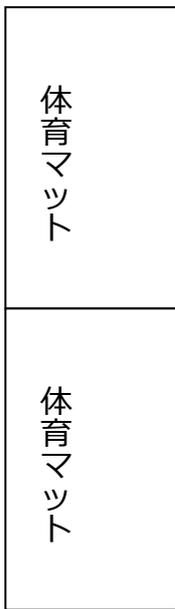
私たちはこの福祉実践教室の特徴を『障害者の生の声』と捉えています。その為、障害者本人が学校まで行くということで、健常者以上の労力、費用がかかってしまいます。実施にあたり、その他の費用もかかります。

その点をご理解のうえ、ご協力いただければ幸いです。

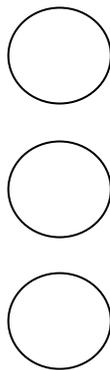
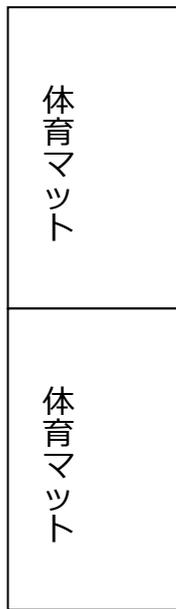
6. 車いす貸出の申し込みは学校側から社会福祉協議会に、搬入についても学校側をお願いします。

車いす体験レイアウト

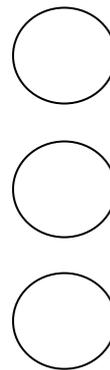
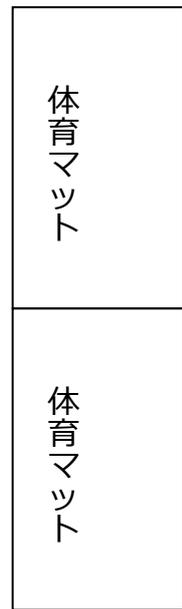
ステージ



カラーコーン



カラーコーン



カラーコーン

※体験人数によってマット、カラーコーンの数を変更になる場合があります